

INPUT

短答本試験徹底分析講座 (全5回)

「敵を知る講義」=過去3年分の短答式試験を徹底的に分析します。

■ここがポイント

- ①「試験に合格するために「何を」「どのように」「どれくらい」「いつから」すればよいのかを解説します。

OUTPUT+解説講義

短答式弱点克服演習 (全10回)

本試験で得点差が付き易い部分の問題演習+解説講義で実力UP。

■ここがポイント

- ①短答式試験の「得点源」となる問題・「得点差をつけられる」問題を中心に出版します。
- ②詳細な解説講義で解法のポイントがマスターすることができます。

INPUT

短答逐条講義(全20回)

短答式試験に必要な知識を「条文」ごとに詳細に解説します。

■ここがポイント

- ①「条文の理解」に重きを置いた講義
- ②短答式試験に必要な知識の広さ・深さをお教えします。

OUTPUT+解説講義

短答的中答練(全10回)

厳選された本試験予想問題を出題します。これまでの学習の成果を確認して本試験までの学習計画を確定します。

★短答的中答練の前半6回は
法域別に実施します。

- ここがポイント
- ①厳選された本試験予想問題を「前半6回は法域別」「後半4回は全範囲」から出題します。
 - ②詳細な解説資料と解説講義が付いています。
 - ③個人別・全体成績表はWeb上で素早く確認できます。

★短答的中答練の後半4回は
全範囲から出題します。

OUTPUT+解説講義

短答実力テスト(全7回)

短答式試験の基本的な問題演習+解法テクニックを習得します。

■ここがポイント

- ①短答式試験の基本的な問題を演習します。
- ②短答式試験特有の解法テクニックも伝授します。

INPUT

短答ファイナルチェック (全2回)

本試験予想論点を総ざらいします。短期間で得点UPするための秘訣満載です。

■ここがポイント

- ①本試験出題予想論点を短時間で確認
- ②短期間で集中的に頭に詰め込む必要のある「暗記ポイント」も絞り込んで紹介します。
- ③試験直前期のトピックも交えた最新情報をお伝えします。

OUTPUT+解説講義

短答式全国公開模試 (全3回)

本試験と同様の時間帯・形式で実施する模擬試験です。

■ここがポイント

- ①本試験実施時間と同様の時間帯で実施
 - ②本試験実施形式と同様の形式で実施
 - ③毎年本試験の論点的中統出の模擬試験となります。
- ⇒的中情報の詳細はP19をご確認ください。

★実施予定★

2016年3月(予定):第1回
2016年4月(予定):第2、3回

INPUT

論文基礎講義(全14回)

論文式試験に必要な知識のインプットと論文答案の書き方の基本をマスター

■ここがポイント

- ①論文答案の書き方の基本テクニックを伝授します。
- ②論文式試験に必要な知識の広さ・深さをお教えします。

INPUT

論文本試験徹底分析講座(全4回)

過去の論文本試験を徹底的に分析した内容をご案内します。

■ここがポイント

- ①合格のために必要な対策を、その優先度とともに伝授します。
- ②さらに、「いつから」「いつまでに」「どのように」「どれくらい」やればいいのかを解説します。

※専科でのお申込みはできません。本科生専用のカリキュラムです。
※教室講座での実施はありません。教室講座をお申込みの方は、個別DVDまたはWeb・OLフォローにてご受講ください。

OUTPUT+解説講義

論文応用答練(全10回)

これまでに培った「知識」を活用して難度の高い「事例問題」に対する論文答案の作成スキルを習得します。

■ここがポイント

- ①「事例問題」に対する答案作成スキルをマスターすることができます。
- ②基本的な「事例問題」の良問を解くことで、本試験レベルの問題に対する対応力を身につけることができます。

INPUT

論文上級講義(全14回)

「論文答案の書き方」+「必須知識の再INPUT」+「過去問の答案構成」の3部構成で実力UP

■ここがポイント

- ①できているようで「できていない」論文答案の書き方を伝授します。
- ②論文試験で必要となる知識を再度確認し、INPUTします。
- ③3年分の過去問の答案構成演習を実施し、過去問の傾向をしっかりと分析します。

OUTPUT+解説講義

論文的中答練(全12回)

厳選された本試験予想問題を出題します。これまでの学習の成果を確認して本試験までの学習計画を確定します。

■ここがポイント

- ①厳選された本試験予想問題を出題
- ②詳細な解説資料と解説講義が付いています。

OUTPUT+解説講義

論文直前答練(全8回)

これまでの演習等で多くの受験生が弱点としている論点を中心に出版します。

■ここがポイント

- ①多くの受験生が苦手としている分野・得点が伸び悩む分野を中心に出版します。
- ②詳細な解説資料と解説講義が付いています。

INPUT

論文ファイナルチェック(全3回)

本試験予想論点を総ざらいします。短期間で得点UPするための秘訣満載です。

■ここがポイント

- ①本試験出題予想論点を短時間で確認
- ②試験直前期のトピックや直前に実施された短答式試験の情報も交えた最新情報をお伝えします。

OUTPUT+解説講義

論文式全国公開模試(全3回)

本試験と同様の時間帯・形式で実施する模擬試験です。

■ここがポイント

- ①本試験実施時間と同様の時間帯で実施
 - ②本試験実施形式と同様の形式で実施
 - ③毎年本試験の論点的中統出の模擬試験となります。
- ⇒的中情報の詳細はP19をご確認ください。

★実施予定

2016年3月(予定):第1回
2016年6月(予定):第2回・3回